

## 落札（候補）者となるべき同価の入札が2者以上ある場合の、くじ番号による決定方法について

### 1 くじ番号

入札参加者は、入札書の所定の欄に3桁以内の番号（くじ番号）を記載のうえ、入札してください。

なお、この場合において、4桁以上のくじ番号を記載していた場合は下3桁をくじ番号とし、くじ番号の記載がない場合は999を割り当てます。

### 2 順位番号

(1) 落札（候補）者となるべき同価の入札者を、川崎市登録業者有資格者名簿の業者番号の小さい者から順に並べます。

※なお、有資格者名簿未登録の者は、順位番号を定めるため暫定的に9から始まる6桁の番号（900001）を業者番号とみなして割り当てます（未登録の者が複数ある場合は、(株)・(有)等の法人種別を除く社名を五十音順に並べて番号を割り当てる（900001・900002…））。

(2) 上記の順に、順位番号を0（ゼロ）から、1、2、3・・・と割り振ります。

### 3 落札（候補）者の決定

(1) くじ番号の合計を落札（候補）者となるべき同価の入札者の人数で割ります。

(2) 順位番号が上記で得られた「余りの数」と同じ者が落札（候補）者となります。

#### 【参考例】

ア 入札の結果、B社、A社及びE社が同額の場合

業者番号	会社名	入札金額	くじ番号
81	C社	1,900,000円	979
231	B社	1,000,000円	573
3491	A社	1,000,000円	131
12531	D社	2,100,000円	410
900001	E社	1,000,000円	293

イ 同価の入札者に、名簿の業者番号順に0（ゼロ）から順位番号を割り振る。

業者番号	会社名	順位番号
231	B社	0
3491	A社	1
900001	E社	2

ウ 同価となった3者のくじ番号の合計値を、同価となった入札者数で割り、余りを算出する。

$$573 \text{ (B社)} + 131 \text{ (A社)} + 293 \text{ (E社)} = 997$$

$$997 \div 3 \text{ (者)} = 332 \dots 1 \text{ (余りの数)}$$

エ ウにより算出した余りの数が1のため、イで1の順位番号を割り振られたA社が落札（候補）者となる（仮に余りの数が0の場合はB社、2の場合はE社といった結果となる。）。

なお、同価の入札が3者以上で、順位を確定する必要がある場合は、次のとおり順位番号の順（昇順とし、順位番号が最大値となった場合は0に戻る。）とする。

イの場合の順位 ①A社 → ②E社 → ③B社